

日本のふるさと。自給自足的循環社会

広報 京丹波 7

NO.189 2021.7.17 発行TOWN KYOTAMBA



瑞穂小 茶摘み

- 16 14 13 11 10 09 08 06 04 02
- 避難情報が変わりました
- 第8期介護保険事業計画
- 第6期京丹波町障害福祉計画
- 第2期京丹波町障害児福祉計画
- ワクチン接種一般接種
- くらしのガイド
- 安心ほっと便り
- いきいき健康術
- 生涯学習通信TOMORROW
- まちの話題
- 旬を味わおう！

行政機関における

CATV電話の廃止について

京丹波町ケーブルテレビ事業の民営化に伴い、令和3年9月から順次、移行切替が行われます。本町の下記行政機関については、**令和3年8月31日**をもってCATV電話を廃止します。

9月以降、下記行政機関のお問い合わせは、以下のとおりです。
なお、行政機関の電話番号については、今回変更していません。

福祉、子育て	電話番号
健康推進課、福祉支援課	86-1800
こども未来課	82-1394
上豊田保育所	82-2056
みずほ保育所	86-0574
わちエンジェル	84-1920

町立医療機関	電話番号
国保京丹波町病院	86-0220
国保京丹波町病院質美診療所	86-0586
和知診療所	84-1112
和知歯科診療所	84-1154

教育関係	電話番号
京丹波町教育委員会	84-0028
京丹波町中央公民館	
教育委員会 丹波分室	82-0988
教育委員会 瑞穂分室	86-1150

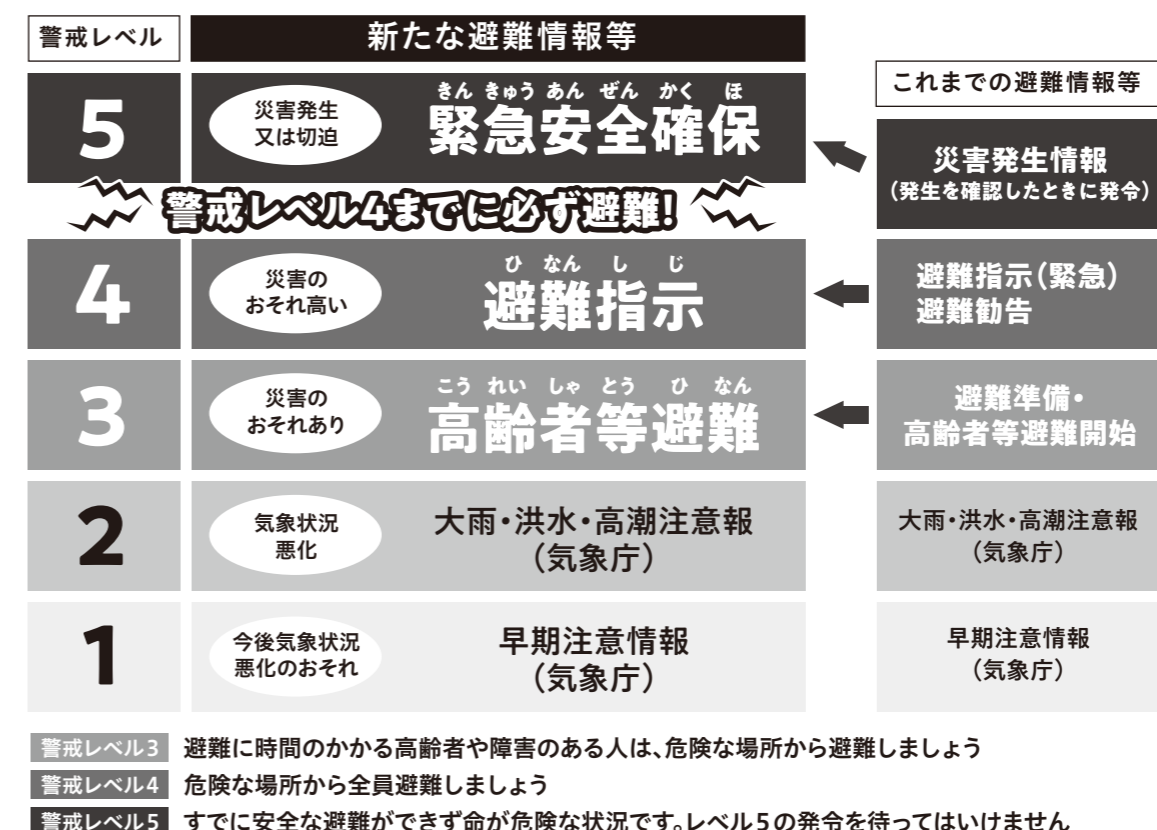
京丹波町役場(本庁・支所)	電話番号
代表	82-0200
総務課	82-3800
企画財政課	82-3801
税務課	82-3802
住民課	82-3803
会計室	82-3804
議会事務局	82-3805
土木建築課	82-3806
農林振興課	82-3808
にぎわい創生課	82-3809
瑞穂支所	86-0150
和知支所	84-0200

水道	電話番号
上下水道課	83-9105



避難情報が変わりました 逃げ遅れゼロへ！

大雨などの災害発生時に発令されていた、警戒レベル3から5について、より円滑かつ迅速な避難の確保や災害対策の実施体制の強化を図るため、次のとおり避難情報などが見直されました。



市町村から発令する警戒レベル4の避難勧告が廃止され、避難指示となりました。警戒レベル4までに必ず避難してください。

避難指示で必ず避難！！

複数の避難所を確認しておく

一つの避難所で受け入れが困難となった場合、地域の避難所以外の避難所を案内することがありますので、自宅周辺の複数の避難場所を、ハザードマップなどで事前に確認しておきましょう。

公民館などの避難場所以外への避難を検討する

事前に親戚や友人などに連絡を取り、避難場所以外に避難できる場所を確保しておきましょう。ハザードマップなどでどこが安全かを確認しておきましょう。

避難するときは、食糧や水、毛布などの避難生活に必要なものに加え、マスクや体温計、消毒液など新型コロナウイルス感染症対策用品も持参しましょう。また、次のことについて事前の準備をしておきましょう。

「避難」って何をすればいいの？

京丹波町防災ハザードマップ(京丹波町ホームページ)
<http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/0000000272.html>



土砂災害警戒区域等指定箇所情報(京都府ホームページ)
<https://www.pref.kyoto.jp/dosyashitei/1244081386452.html>



京丹波町の洪水浸水想定区域図(京都府ホームページ)
https://www.pref.kyoto.jp/sabo/kouzui_sinsui/24kyotamba.html



みんなで支える“輝く生涯” あたたかな心でつくる安心・健康・いきいき 京丹波

計画の基本目標

基本理念である「みんなで支える“輝く生涯”あたたかな心でつくる安心・健康・いきいき京丹波」を実現していくため、また、現状と将来を見据えた課題に対応するために、4つの基本目標を定め、目標達成を実現していくために、各施策を展開していきます。

第8期介護保険事業計画等

本町ではこのほど、令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする「京丹波町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」を策定しました。高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていけるまちづくりを進めます。



計画策定の背景と趣旨

全国的に高齢化が進む中で、本町では、高齢者人口は既にピークを迎え減少傾向であるものの、総人口の減少により、高齢化率は令和2年10月現在で43%を超えました。団塊の世代が75歳以上となる2025年には46%台に、また団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には、55%台にまで増加することが予測され、今後ますます、介護サービスが必要とする高齢者の割合が増加する可能性があります。

本町では、高齢者福祉施策の基本指針となる「高齢者福祉計画」と「介護保険事業計画」とを一体的に策定し、3年ごとに見直しを行いながら、高齢者の皆さんが、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを進めてきました。

今回策定の「京丹波町高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」では、第7期計画の基本的な方向性と成果を継承しつつ、長期的視点からは2025年、2040年の双方を念頭に、地域包括ケアシステムの構築やさらには地域共生社会の実現を目指すこととしています。

計画策定の体制

今回の計画は、公的サービスのみならず地域の共助などを含む地域包括ケアシステムの構築について検討するため、町内の地域活性化団体や各種団体、介護保険事業所などの代表19人による「京丹波町地域包括ケア推進委員会」（片山俊明委員長）において、町民アンケート調査や町内の介護保険事業者などとの意見交換の結果も踏まえ、全7回にわたる協議を行い策定しました。

1 支え合うまちづくり — 地域包括ケアシステムの強化 —

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などが増加していることから、地域における人と人とのつながりや支え合いの仕組みがこれまで以上に重要になってくると考えられます。地域包括支援センターを中核施設とし、必要なサービスや仕組みを検討しながら「すべての高齢者が地域の中で安心して暮らせるまちづくり」を推進します。

また、入院、退院、在宅復帰を通じた切れ目のない医療と介護の提供体制を構築し、自立と尊厳を支える継続的な支援を行います。

2 いきいきと暮らせるまちづくり — 健康づくりと介護予防 —

日常生活における健康への意識付けと生活習慣の改善につながるような主体的な健康づくりへの支援を推進します。介護予防・日常生活支援総合事業の充実を図るとともに、健康づくりの視点を大切に、町民主体の身近な公民館等を拠点とした魅力ある介護予防事業の展開に取り組みます。

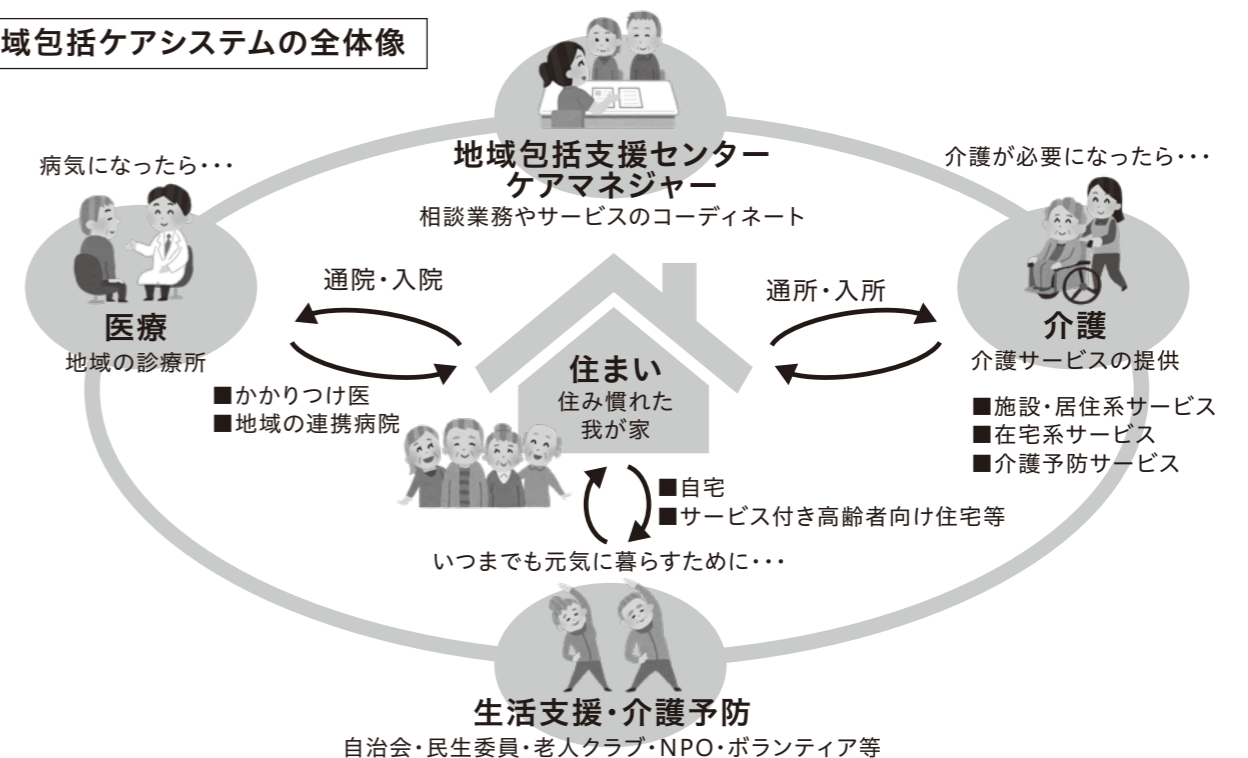
さらに、就労やボランティア活動などに意欲を持つ人も増加すると考えられることから、地域との関わりや、積極的な生きがいづくりを支援するため、地域活動の活性化と社会参加機会の拡充を図ります。

3 安心して暮らせるまちづくり — 高齢者福祉の充実 —

ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯などで日常生活に不安のある高齢者が、在宅での生活を継続できるよう必要な生活支援サービスを提供します。

また、認知症の容態に応じた適時・適切な介護などの提供を目指した早期発見・早期対応のための相談体制の普及啓発や、関わる地域の方の理解や協力を深める啓発活動を推進すると

地域包括ケアシステムの全体像



ともに、高齢者を守るための権利擁護施策の推進を図ります。さらに、介護保険制度に係る冊子の配布などを通じて、積極的な制度啓発と情報発信に取り組みます。加えて、新型コロナウイルス感染症などの感染症に対し、正しい知識を持つて予防策を実践できるよう働きかけ、感染拡大時には、関係機関などとの連携や協力のもと、高齢者への感染症のまん延予防に努めます。

4 介護サービスの充実と質の向上

今後も介護サービスに対するニーズが増大していくことが予想されることから、身近な地域で必要とする介護サービスを利用することができるよう、サービスの質の向上と確保を図るとともに、介護保険制度を円滑に運営するため、介護給付費の適正化を図ります。

また、「京丹波町介護福祉士育成修学資金貸与制度」や「京丹波町福祉人材確保対策助成金交付制度」の活用促進による介護人材の確保を推進するとともに、介護相談員派遣事業を通じて、介護職員などの資質向上と介護現場の魅力アップによる人材確保を支援します。

計画の推進に向けて

この計画は、高齢者の福祉施策の総合的な推進を図るための計画です。このため、行政だけでなく民間団体や保健・福祉・医療・介護・防災などの各機関との連携が必要不可欠です。町の関係部署はもとより、町民の皆さんや地域団体に計画の趣旨や内容の周知を図り、連携の強化、協力的体制づくりを推進します。

また、計画に基づく施策を総合的・計画的に推進するため、計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルを確立し、保健・医療・福祉に関して総合的な見地から推進状況を評価・確認していくこととしています。

第6期京丹波町障害福祉計画・第2期京丹波町障害児福祉計画

本町ではこのほど、令和5年度までの第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画を策定しました。
この計画をもとに本町の障害のある人もない人も、いきいきと自分らしく地域生活を送ることができるよう進めます。

1 背景と趣旨

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画は、平成30年3月に策定した第3期京丹波町障害者基本計画に基づき策定しています。また、本計画は、本町で暮らす障害のある人や障害のある子どもが、住み慣れた地域で住み続けられるよう、また、いきいきと自分らしく地域生活が送れるよう、さらなる障害者福祉の充実に向け障害福祉サービスや地域生活支援事業などの提供体制をより一層充実するために策定しています。

2 計画策定の体制

計画の策定にあたっては、障害のある人のニーズを把握するとともに、障害福祉サービスなどの基盤整備を計画的にすすめるためにアンケート調査を実施しました。

その調査結果や、当事者団体などからの意見も踏まえ、行政、障害者団体、

福祉サービス提供事業者、相談員、支援事業者などで組織する「京丹波町地域自立支援協議会」で、協議を重ねて策定しました。

3 基本理念

みとめあい、ささえあい、
自分らしく生きる 京丹波町

本計画は、「第3期京丹波町障害者基本計画」を上位計画として策定していることから、同計画の理念である「みとめあい ささえあい 自分らしく生きる 京丹波町」のもと、計画を推進していきます。

4 基本的視点

今回策定した計画では、基本理念のもと、次の基本的な視点に立つて、計画を推進します。

共生社会の実現と個人としての尊厳の尊重

バランスのとれた障害福祉サービスの提供体制の充実
地域生活移行や就労支援などの課題に対応したサービス基盤の整備

5 成果目標と活動指標

計画では、障害のある人などの自立支援の観点から、地域生活への移行や就労支援といった課題に対応するため、計画の目標年度である令和5年度に向けて成果目標を設けています。
また、成果目標達成のため、活動指標（障害福祉サービスなどの必要な量の見込みと確保方策）を定めています。

成果目標を定める項目

計画では、項目ごとに成果目標を定めています。（抜粋）

1 福祉施設入居者の地域生活への移行

●令和5年度末までの地域生活移行者数……2人

●入所者数削減見込……1人

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

●令和5年度末までに、保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置（圏域内）※

3 地域生活支援拠点等の整備

●令和5年度末までに、地域生活拠点等を少なくとも1カ所整備（圏域内）

4 福祉施設から一般就労への移行等

●令和5年度の一般就労移行者数……1人

●令和5年度の就労移行支援事業利用者（一般就労への移行者数……1人

●令和5年度の就労継続支援A型事業利用者（一般就労への移行者数……1人

●令和5年度に就労移行支援事業を通じて一般就労をした者のうち、就労定着支援事業利用者数……1人

計画の推進体制

①推進管理体制の確立

計画の管理にあたっては、福祉支援課が中心となり、関係機関・団体、障害のある人などと連携を図りながら、総合的效果的に行います。

また、庁内関係部局と連携し、年度ごとの進捗よく状況を把握し、施策の見直しについての協議を行い、円滑な推進に努めます。

②計画の点検・評価の方策

計画に基づく施策を推進するため、各施策の実施状況などについて、毎年度「京丹波町地域自立支援協議会」に報告し、意見を聴くなど、進捗よく状況の点検と評価を行います。

③府・近隣自治体・事業所・住民との連携

障害者施策は、保健、医療、教育、雇用など幅広い分野にまたがるものであり、計画の推進にあたっては、庁内各課や関係機関、団体はもとより、障害福祉に関する事業所、地域住民との協働により取り組みを進めます。

また、広域的に取り組むことにより効率的かつ効果的に実施できるものについては、京都府や近隣自治体と連携を図り進めていきます。

5 障害児支援の提供体制の整備等

●令和5年度までの、児童発達支援センターの設置数……1カ所（圏域内）
●令和5年度までに、保育所等訪問支援を利用できる体制を構築（圏域内）

●令和5年度末までの、主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の設置数……1カ所（圏域内）

●令和5年度末までの、主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所の設置数……1カ所（圏域内）

6 相談支援体制の充実・強化等

●令和5年度末までに、総合的・専門的な相談支援を実施する体制を確保（圏域内）

7 障害福祉サービス等の質を向上させるための取り組みに係る体制の構築

●令和5年度末までに、障害福祉サービスなどの質を向上させるための取組に関する事項を実施する体制を構築する。

※圏域：南丹圏域（京丹波町・亀岡市・南丹市）

※計画で見込量を定めるものを記載。

サブスクリプション(定額制)サービスを利用していますか？

サブスクリプションサービスとは

「月々〇円で使い放題」のように定額制で一定の製品やサービスが提供される継続的な契約

昔から新聞購読など定額制のサービスはありましたが、最近は映像や音楽、電子書籍などの配信サービスや、洋服、バッグ、家具、自動車などのレンタルサービス、飲食店でのサービスなどネットが普及するにつれて幅広い業種に活用され始めています。

個々に購入するのに比べてお得に感じますが、実際はそんなに使わなかったり、解約方法が分からないなどトラブルにつながったりすることがあります。

PASSWORD...

無料お試しにつられ契約。そのまま忘れていたら有料契約になっていた。

長期間契約している間に何を契約したか忘れた。連絡先も不明。

思っていたより利用せず、個別に購入する方が安かった。

パスワードを忘れて解約手続きができない。

トラブルを防ぐには契約前の確認が重要です。

1 事業者の情報を確認

事業者名、連絡先の記載があるかチェックし、情報を保存する。

2 取引条件を確認

取引条件・利用規約を確認し、定額支払いで利用できるサービスの範囲・制約条件を理解する。

3 解約条件、解約方法を確認

最低利用期間、契約更新の期日、更新しないときは何日前までに連絡が必要かを確認する。
解約が複雑に設定されている場合もあるので、事前に確実な解約手続方法を確認する。

4 本当に自分に必要なサービスであるか確認

契約したものの、結局あまり使わなかったという場合も。契約前によく検討しましょう。



ネットで契約した場合はパスワード・IDをきちんと保管しましょう。

『消費生活相談窓口』

京丹波町では、消費生活に関する相談や情報提供をお受けしています。

消費生活に関する連絡・相談先 ※メールでの相談はお受けしていません。

京丹波町消費生活相談窓口

電話：0771-82-3803

相談日：水・木曜日

南丹市商工課内

電話：0771-68-0100

相談日：月・火・金曜日

南丹市の相談窓口も利用していただけます。

一人で悩まず、気軽に相談してください。

京丹波町新型コロナウイルスワクチン接種一般接種の概要

～安全で円滑なワクチン接種を進めています～

京丹波町では、新型コロナウイルスの感染拡大を予防し、重症者の発生を抑制するため、現在、国および京都府、医療機関などと連携しながら新型コロナウイルスワクチンの高齢者への接種を行っています。64歳以下の方の接種については、7月31日(土)から開始いたします。接種を希望される方は、集団か個別接種から選択して予約をお願いします。また、接種日まで、接種券や予診票はなくさないように保管してください。

●対象者

16歳以上64歳以下の人(約6,300人)

※接種の年齢が引き下げられ、12歳以上の方が接種できることとなりました。
12歳以上15歳以下の方の接種については、改めてお知らせします。

●集団接種スケジュール

京丹波町では、一般接種を7月31日(土)から、実施していきます。接種券は6月28日の週に発送しています。
(1回目の接種日から3週間後が2回目の接種日となります)

●集団接種について

一般接種の接種順位

- ①50歳以上64歳以下の基礎疾患のある方
- ②16歳以上49歳以下の基礎疾患のある方
- ③50歳以上64歳以下で基礎疾患のない方
- ④16歳以上49歳以下で基礎疾患のない方

日時		会場
1回目	2回目	
7月31(土) 午後	8月21(土) 午後	山村開発センターみずほ
8月 1(日) 午前・午後	8月22(日) 午前・午後	山村開発センターみずほ
8月 7(土) 午後	8月28(土) 午後	蒲生野中学校
8月 8(日) 午前・午後	8月29(日) 午前・午後	蒲生野中学校
8月14(土) 午後	9月 4(土) 午後	和知ふれあいセンター
8月15(日) 午前・午後	9月 5(日) 午前・午後	和知ふれあいセンター
9月11(土) 午後	10月 2(土) 午後	和知ふれあいセンター
9月12(日) 午前・午後	10月 3(日) 午前・午後	和知ふれあいセンター
9月18(土) 午後	10月 9(土) 午後	山村開発センターみずほ
9月19(日) 午前・午後	10月10(日) 午前・午後	山村開発センターみずほ

予約方法

■コールセンターへの電話予約(受付：平日午前9時～午後5時)
右記の番号へ電話で予約 コールセンター 0771-88-9321

■Web申込予約 (受付：24時間)
QRコードを読み込むか、URLを入力し、アクセスして予約を行う。
URL <https://jump.mrso.jp/264075/>



予約された方は、予約した日時と場所をお間違えないよう注意してください。

●個別接種について

[対象] 町内の医療機関にかかりつけ医のいる方

[予約方法] 医療機関へ直接電話で申し込み

※申し込みは、二重予約とならないよう、ご注意願います。



ワクチン接種に関する問い合わせ

京丹波町コールセンター 電話0771-88-9321(平日:午前9時～午後5時)



安心ほっと便り

京丹波町の「安全・安心まちづくり」を支援している
関西大学社会安全学部の取り組みを随時お伝えします

関西大学
社会安全学部

Series 18



いきいき健康術 第168回

町立病院・診療所の医師や専門職員が健康情報をお届けします。



『コロナワクチン予防接種後について』

さいとう よりえ (国保京丹波町病院師)
主任看護師

京丹波町でも新型コロナワクチンの予防接種が開始されています。今回は先行してワクチンを接種した国保京丹波町病院で働く医療従事者の声をまとめてみました。

まず、接種直後は「全く痛くない」「全然何ともない」という声がほとんどでした。そして、多くは翌日から副反応が出現しているようです。



主な副反応の声

○接種部の痛み

「腕全体が痛い」「痛くて腕が動かせない」

○発熱

「翌日の午後から熱が出た、二日目も微熱があった」
「1回目の接種より、2回目のほう高い熱が出た」
「1回目の後は熱は出なかったけど、2回目は38度から39度まで出た」

○頭痛

「翌日からとにかく頭が痛かった」

○倦怠感

「今まで感じたことのない体のだるさがあった」
「翌日はだるくて動けなかった」

○関節痛

「筋肉痛や関節痛があった」

○腰痛

「とにかく腰が痛いし、だるかった」

これらの症状は早くも2日後には消失し、長くても3日経てばほとんどのスタッフがおさまっていました。市販の解熱鎮痛剤で熱や痛みを和らげたスタッフも少なからずいました。もちろん、全く症状の出ない者もいました。

接種後の注意点

- 接種部位をもんだりしてはいけません。
- 力仕事などせず、できるだけ静かに過ごしましょう。
- お風呂は入っても大丈夫です。
- 発熱時は市販の解熱鎮痛剤を服用してもかまいません。
- 接種後に^{じんましん}蕁麻疹が出たり、呼吸がしにくい、吐き気や下痢がひどいなど“アナフィラキシー”の症状が現れた場合はすぐに受診してください。

*副反応の症状が出る前に病院で解熱鎮痛剤を処方してもらうことはできませんので注意してください。

いかがでしたか？皆さんの周りの医療従事者の方も接種を終え、症状を経験しているかもしれませんので不安なことがあれば聞いてみてもよいかもしれませんね。参考にしてみてください。

町立医療施設の敷地内は全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いします。 京丹波町病院 電話 0771-86-0220

丹波ひかり小学校と交流授業スタート



2021年6月4日、丹波ひかり小学校で、防災交流授業が始まりました。

5年生のみなさんと様々な種類の災害リスクについて学び、さらに、備え方についても1年を通して考えていきます。

初回は、防災川柳づくりに挑戦。多くの児童が、防災に関心を寄せてくれていることがわかりました。



コロナ対策を徹底して
大学生は
オンライン参加

次回こそ
会いたいね！



「防災川柳」
児童の優秀作を
紹介します！

災害だ 早く行こうよ 避難場所

地震だよ あたまを守れ ざぶとんで

川と山 雨が降ったら 近づかない

京丹波 みんなで守ろう そのいのち (←先生の作品)

本年度は
京丹波CATVでも、
防災川柳を募集しているよ！



「健康ウォーキング」に取り組んでみませんか？



京丹波町では、町民の皆さんの健康増進や運動のきっかけづくりのため、どなたでも気軽に楽しめるウォーキングを推奨しています。

コロナ禍で体を動かす機会が減ってしまい、運動不足に悩まされている方も多いと思いますが、ウォーキングなら密を避けて自分自身のペースで取り組むことができます。

普段の生活に「+10分」の運動を取り入れることで、健康づくりやストレス解消につながりますので、ぜひ、皆さんもウォーキングに取り組んでみてください。

ウォーキングに 取り組むことで期待できる効果

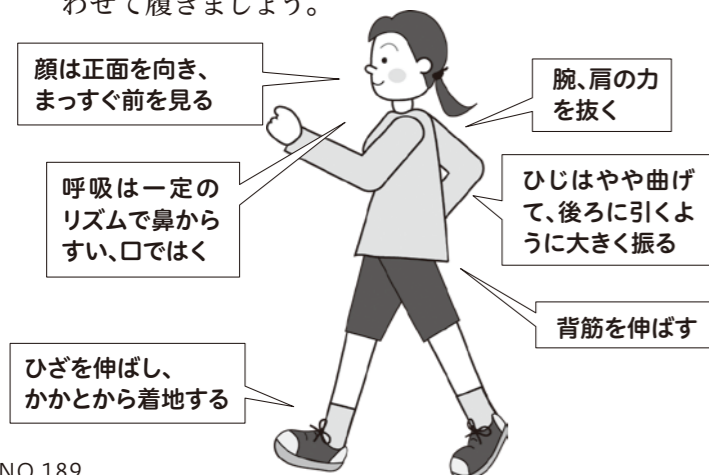
- 生活習慣病の予防や適度な疲労による睡眠の質の向上
- 下半身の筋力アップによる転倒防止
- ストレス解消とリラックス効果
- 新陳代謝の促進、冷え性の改善や美肌効果
- その他にも様々な効果が期待できます。

実際にやってみよう！

元気に体を動かすことは健康への第一歩です。正しい姿勢で歩くことを心がけ、少しでも歩幅を広くしたり、速く歩いたりすることで、効果的なウォーキングに取り組みます。

【安全にウォーキングを行いましょう】

- 安全で歩きやすい道を歩きましょう。
- 熱中症に注意し、適度な水分を摂取しましょう。
- 歩きやすいシューズを選び、かかとをしっかり合わせて履きましょう。



「SPORTS TOWN WALKER」のご紹介

「SPORTS TOWN WALKER」は、毎日の「歩く」が楽しくなる無料のスマホアプリです。お手持ちのスマートフォンにアプリをダウンロードすれば、どなたでもご利用いただけます。

このアプリには、歩数を記録できるほか、利用者のランキング(全国・京都府内・京丹波町内)の確認や歩数に応じてオリジナルキャラクターが成長する機能などがあります。

毎日のウォーキングをさらに楽しめるアプリですので、ぜひ、ご利用ください。

※ご利用方法等についてご不明な点があれば、下記までお問合せください。

教育委員会社会教育課
電話 0771-84-0028

ダウンロード方法などアプリの詳細はこちらから



<https://runnet.jp/project/sportstownwalker/>



アプリイメージ



お茶の間

「こんにちは赤ちゃん」 コーナー 申し込み募集

〈対象者〉

町内在住で、申し込み時に生後1歳未満のお子さま
〈申込方法〉お子さまの顔写真に申込書を添えて、役場または支所まで、持参・郵送・メールのいずれかで届けてください。申込書は役場本庁、支所、瑞穂保健福祉センターにあります。

【問】

京丹波町企画財政課
電話 0771-82-3801
Eメール
kikaku30@town.kyotamba.lg.jp

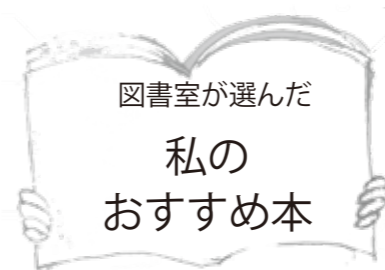


図書室が選んだ 私の おすすめ本

「ヒロシマ 消えたかぞく

『この笑顔がずっとつづくと思っていた』

指田 和・著 鈴木 六郎・写真 / ポプラ社



昭和20(1945)年8月6日午前8時15分、広島の上空に原子爆弾が落とされました。

鈴木さんの家族は、原爆で一家全滅しました。この日、広島に一発の原爆が落とされるまで確かに生きておられた家族の記録です。

六郎さんの写真からは、見飽きる

ことのない公子ちゃんたちの笑顔、家族とかわいがられていた動物たち、日々の暮らしが浮かんて胸に迫ります。

著者が言われるように、この一冊をとおして命や平和について考えていければいいなと思います。



質美公民館(質美振興センター)図書室 なかにし ようこ
中西 陽子

図書室のご案内

開室日	開室日	日	月	火	水	木	金	土
中央公民館図書室 電話 0771-82-0988				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時
桧山公民館(山村開発センター)図書室 電話 0771-88-0506		14時～17時			14時～17時	14時～17時	14時～17時	第2、第4土 13時～17時
梅田公民館(旧梅田保育所)図書室				第1、第3火 9時～13時				第1、第3土 9時～13時
三ノ宮公民館(三ノ宮基幹集落センター)図書室				第2、第4火 13時～17時				第2、第4土 13時～17時
質美公民館(質美振興センター)図書室				第2、第4火 13時30分～17時30分				第2、第4土 13時～17時
和知公民館(和知ふれあいセンター)図書室 電話 0771-84-2081				9時～17時 ※11時30分～12時30分までの間、昼休み(閉室)となります。	9時～17時	9時～17時	9時～17時	9時～17時

貸出期間 2週間 貸出冊数 1人1回5冊まで

茶摘みを体験

瑞穂小 茶摘み体験

瑞穂小学校の1、2年生が5月27日、大朴協同生産組合が管理している茶畑で茶摘み体験をしました。

体験では、児童らは大朴協同生産組合の組合員に摘み取りの方法を教わりながら、やわらかい新芽をていねいに一つひとつ手で摘みとりました。

お茶の葉を摘みとった後、児童らは製茶工場を見学し、お茶ができる流れを学び、地元で作られたお茶を



「だるま1000プロジェクト」について説明する町ケーブルテレビの職員

味わいました。

2年生の田島春樹くんは「いっぱいとれて楽しかった。自分たちで摘んだお茶を飲むのが楽しみ」と話しました。

今回体験を受け入れた大朴協同生産組合の奥井賢治組合長は「体験を通して地元を大切に思う心を育んでもらいたい。地産地消にもつなげていきたい」と話しました。

今回摘み取ったお茶の葉は、9.4kgあり、製茶工場で加工され瑞穂小学校に届けられます。



組合員と一緒に茶摘みをする児童

双葉だるまの折り紙ってなに？
和知小 だるま1000プロジェクトについて学ぶ

和知小学校では5年生が「だるま1000プロジェクト」について学びました。これは児童が小学校の隣にあるグループホームささゆりの宿で見つけた「だるまの折り紙」をきっかけにはじまったもので、総合的な学習の一環で、取り組まれています。

「だるま1000プロジェクト」は、友好町の福島県双葉町のシンボルである「双葉だるま」をモチーフに、両町の町民同士がだるまの折り

紙を折り合うことで、気持ちを通わせることを目的としたもので、東日本大震災の経験を継承し、風化させることなく友好町との交流を推進していくと、関西大学社会安全学部の学生が考案し、平成29年からスタートしました。

6月17日に行われた授業では、外部講師として同プロジェクトと関わりの深い京丹波町ケーブルテレビの職員を招き、京丹波町と双葉町の関係や双葉だるまについて学びました。今後、1年を通して同プロジェクトについて、学びを深めていきます

安心で安全な明るい地域社会へ
社会を明るくする運動
7月は社会を明るくする運動の強調月間で、今年で71回目を迎えました。社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めるとともにそれぞれの立場において力を合わせ、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

内閣総理大臣からの伝達を行う前田さん

この運動に先立ち、6月22日に南丹地区保護司会京丹波支部の前田昌成会長と竹内文子さんが、町長に7月の強調月間における内閣総理大臣からのメッセージの伝達を行いました。伝達を受けた太田町長は「まちとしても非行や犯罪予防に対する意識の向上や犯罪からの立ち直りを支える取り組みを今後も展開していきたい」と応えました。



支え合う地域づくり

竹野地区でカーシェアリング立ち上げ

このほど竹野活性化委員会が地域住民の移動手段の確保に向けてカーシェアリング事業を立ち上げ、運用を開始しました。

このカーシェアリング事業は、車を共同で使いながら地域を支え合うサークル活動で、運営に必要な経

費は利用者が分担する仕組みとなっています。また、現在3人のドライバーがボランティアで活動されています。

6月8日に食彩の工房で行われた出発式では、関係者や利用者など20人が参加し、カーシェアリングの本格実施を祝いました。

竹野活性化委員会の中西和之会

ち上げ、災害被災地の支援を行っています。平成30年7月豪雨の被害では、被災した上乙見区を支援するために災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアの受け入れを行い、家屋に流入した土砂の撤去などが行われました。

6月10日に南丹市園部文化会館で行われた園部ライオンズクラブとの協定締結では、自然災害におけるボランティア支援として、必要となる資機材や人的支援の提供などの支援内容を確認しました。

また、6月24日には一般社団法人船井青年会議所と災害時における協力体制に関する協定を締結し、災害時に円滑に連携や協力ができるよう、平常時から連携を図ることを確認しました。

京丹波町社会福祉協議会の由良賀代子会長は「多方面から協力いただけるのは心強く思う。また、いざというときに力を発揮できるよう、日頃から交流を深めていきたい」と協定の締結を喜び、「杜協はボランティアセンターを立ち上げる立場、ボランティアの方に助けてもらっています。みんなが互いに気遣い支えあえる町になつてほしい」と話しました。

長は「高齢化が進むなか、この施策は地域にとって必要なもの。ボランティアを優先し、楽しみながら長く続けていきたい。また、ニーズを把握し、より良いものにしていきたい」と話し、ドライバーの山本和之さんは「これからの福祉は地域で支え合っていく時代。私にできることはやつていきたい」と話しました。



利用者を乗せて走る山本さん

人の動き

人権擁護委員

(委嘱期間)
令和3年7月1日から
令和6年6月30日まで

友金 一郎(退任)
村山 孝明(再任)
小森 誠(新任)

山崎 要志(退任)
西田 三郎(再任)
杉山 詩乃(新任)

※敬称略

わたしたちの町

人口 13,434(−13)
男 6,424(−3)
女 7,010(−10)
世帯数 6,215(±0)
7月1日現在／()は前月比

ふるさと応援寄付金

【令和3年度累計】 762万6千円/379件

【令和3年5月】 403万3千円/194件

5月の寄付者

※敬称略

片山 山治
株式会社協栄リノベーション
国道9号管内橋梁塗装塗替工事
下大久保橋作業所
太田 純平 新井 規志



～健康推進課栄養士がお届け～

旬を味わおう!

豚肉ときゅうりの冷しゃぶ梅サラダ

1日の野菜摂取量目安量 350g

このレシピの1人分の野菜量 115g

目安量の約1/3の野菜を
摂ることができます!



材料(2人分) ★旬の食べ物

豚ロース薄切り肉 …………… 140g

きゅうり★ …………… 100g(中1本)

ミニトマト★ …………… 60g(6個)

梅干し 7g[種を除いた場合](中1個)

たまねぎ(すりおろし) 70g(中1/3個)

A 濃口しょうゆ …………… 12g(小さじ2)

米酢 …………… 7.5g(大さじ1/2)

*米酢を使うとまろやかに仕上がりますが、
穀物酢でも代用できます。

栄養価
(1人分)

エネルギー:222 kcal たんぱく質:15.3g 脂質:13.6g
カルシウム:30g 食物繊維:1.6g 食塩相当量:1.2g

1日の食塩摂取量目標量

男性:7.5g未満 女性:6.5g未満

このレシピは野菜の甘味を生かしているので
食塩が少なくてもおいしく食べられます!

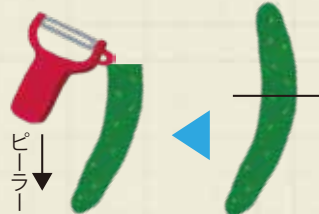
きゅうりには利尿作用があり、むくみの改善に効果があります。トマト、梅干し、酢の酸味は食欲増進や疲労回復の効果があるといわれています。また、豚肉に多く含まれているビタミンB1も夏バテ予防に効果的です。バランスよくしっかり食べて、暑い夏を乗り切りましょう!



作り方

1

きゅうりは横半分に切り、ピーラーで縦にスライスする。氷水に入れて、シャキッとしたりザルに上げて水気を切る。ミニトマトは半分につけておく。



2

鍋に水を入れて加熱し、小さな気泡が出てきたら(約80℃)、豚肉を1枚ずつはぐして入れ、さっと火を通してザルにあげて水気を切って、冷ます。

3

梅干しは種を取り除いて包丁でたたき、**A**と混ぜ合わせる。

4

1と**2**を器に盛りつけ**3**をかける。